



きよさとっ子

みんなちがって みんないい ～「違い」は財産～

校長 渡邊 正博

年末年始が近付いてきました。我が家は、私が新潟県出身、妻が福井県出身ということで、出会ったばかりの頃は、新潟と福井の年末年始の食文化が違うことに驚きました。

① 福井のお雑煮は「白味噌ベースで丸餅」

新潟のお雑煮といえば、醤油ベースのお汁に野菜や鮭、イクラなどが入った具沢山な料理です。お餅は四角いお餅でした。しかし、福井のお雑煮はまったく違います。白味噌ベースのお汁の中に、大きな丸餅が一つ。たっぷりの鰹節をふりかけていただきます。



② 福井のお節料理につくお魚は「ぶり」

新潟のお正月には定番の「焼き鮭」。年取り魚として縁起のいいものとされています。しかし、福井で出てくるのは「ぶり」。おせち料理の隣に、ぶりのお造りが並んで、とっても豪華です。



なぜ、新潟と福井で食文化が違うのでしょうか。諸説あるそうですが、一説によれば、1600年、徳川家康と石田三成を筆頭に日本全国の武将が東西に分かれて覇権を争った天下分け目の「関ヶ原の戦い」が起因しているとのことでした。新潟県は東側、福井県は西側に位置しているため、食文化などに大きな違いがうまれているらしいのです。

私は、福井のお雑煮もぶりのお刺身も大好きです。妻と出会わなければ、このような郷土料理を味わう機会はなかったかもしれません。それ以外にも、福井には「ヨーロッパ軒のソースかつ丼」「江川の水ようかん」「羽二重餅」など、たくさんの名物があり、妻と過ごす中で、自分だけでは出会えないたくさんものに出会わせてもらいました。

自分一人で得られる知識や経験は狭く少ないものです。自分とは違う環境で、自分の知らない経験をもった人たちと接し、共に生活する中で、自分という存在を高めていくことができるのです。そう考えると、清里小の子たちは実に個性的です。だからこそ、互いに違いを理解し合って、吸収し合って、高め合っている集団であると感じます。素晴らしい子どもたちです。

早いもので、令和7年もあと2週間ほどで終わろうとしています。これまで、大きな事故なく教育活動が進めてこられたこと、たくさんの知識と経験をいただいたこと、皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。どうぞ、よいお年をお迎えください。



11月・12月前半のトピック

2学期もクラスや全校の友達、地域の人・もの・ことと関わり、元気いっぱい活動しました。

11/11 上江用水ツアー

4年生が妙高市、板倉区、清里区と上江用水をたどり、様々な仕組みや当時の人々の願いや工夫、苦勞を調べました。



11/13 焼き芋づくり

1・2年生が畑で収穫したサツマイモを使って焼き芋づくりに挑戦し、甘くてトロトロのおいしさを味わいました。



11/18 清滝ダム見学

3・4年生が、地域コーディネーターの森田さんを講師に、清滝ダムの役割を学びました。



11/20 読書旬間読み聞かせ

読書ボランティアのみなさんが、大型絵本や紙芝居を読んでくださり、子どもたちはじっくりと聞き入っていました。



11/26 キラキラちゃん卒業式

キラキラちゃんと過ごした2か月あまりの思い出を胸に、たくさんの感謝と最高の笑顔でお別れをしました。



11/27 オータムフェスタ

6年生を中心として委員会が企画した出店を、全校が自由に回って楽しみ、笑顔があふれるひと時となりました。



11/28 書初め学習会

荒川先生を講師に迎え、上達のポイントを学んだ3～6年生が熱心に練習に励みました。



12/3 期末PTA・学習参観

一生懸命課題に取り組む子どもたちを、大勢のみなさんが温かく見守ってくださいました。



11/19・12/11 お米販売

稲文字活動で育てたお米を食べてもらいたいと願い、5年生が朝市とイオンで販売しました。



冬季休業中も清里っ子の見守りをよろしくお願いします。

保護者、地域の皆様には、日頃から子どもたちの登下校や生活の見守りをしていただき、ありがとうございます。おかげで大きな事故やけがもなく、冬季休業を迎えようとしています。休業中においても、子どもたちの様子を見守っていただき、生命に関わることや他人に迷惑のかかることが見られましたら、望ましい言動を教えていただくとありがたいですし、学校まで一報をお願いします。

緊急の連絡（交通事故、手術・入院など）がある場合は、下記の連絡先へ

※年末年始を含む12月27日から1月4日は、学校に教職員が不在になります。

【平日】学校 528-4634 学校緊急電話（担当：教頭）080-7188-9081

【土日・夜間・学校閉庁日】上越市教育委員会緊急電話 080-2371-0781



HP
購
更
新